

「差別をなくす」発信を鳥取から

第50回

「部落解放全国女性集会」

記念すべき第50回「部落解放全国女性集会」を、1月15、16の両日、鳥取の地で開催することになりました。集会には、部落解放同盟の女性部会員が全国から参加されます。集会を迎えるにあたって、私たち女性部会員が感じていることをお伝えします。

それは、私たちの周りをはじめとして、いまだに部落差別がなくなっていないことへの悲しみと憤りです。毎年のように全国各地で、集会で差別の実態が語られています。

たくさんの仲間が私たちと同じ悩みを持ち、同じように全国で闘っていることを知り、感動し、「わたしもがんばろう」との勇気が得られます。集会に参加して、私たちは、差別は作られたものであること、そして、差別をなくす取り組みによって、差別はなくなることを確信しました。

今回は鳥取からの取り組みを発信することで、私たちが今までこの集会で得てきたものを全国の仲間へ伝えていきたいと思っています。

どなたでも参加できます 「反差別国際フォーラム」

また、今回の集会を記念して、だれでも参加できる「反差別国際フォーラム」を開催します。

鳥取市では2年前、女性団体が実行委員会を結成し、インドのダリット女性のファティマさんを迎える会を開催しました。彼女たちダリットはインドの身分制度に基づきアウトカースト（不可触賤民）として位置付けられ、差別されています。

「人間を壊されてきた、だから、人間を取り戻す」ため、その意味するところの呼称として、自らをダリットと呼び、差別の取り組みをしています。さらに女性だからという理由で、過酷な「複合差別」の実態の中で生きています。「この差別をなくすため、私たちは様々な法や制度の整備とともに、女性たちの経済的自立をうながす活動を行っています」と彼女は語ってくれました。まさにこの話は、日本の被差別部落の女性と共通するものでした。

差別は社会の「より弱い者」に転嫁されています。だからこそ、この人たちの立場に立ち、差別を許さない取り組みを推進

していくことが求められているのです。今回、フォーラムを開催するのは、あらゆる差別をなくすために、複合差別の観点を欠いてはならないことに気付いたからです。差別の実態から学び、差別をなくす取り組みによって、人と人がつながり、「反差別に向かう自分」が生まれます。フォーラムは、県内の女性団体とともに実行委員会を結成し、開催します。ぜひ、ご参加ください。

上田 梅子（部落解放同盟
鳥取市協議会女性部長）

ご案内

反差別国際フォーラム

～響け。マイノリティ女性の声～

入場無料

- 日時 1月15日（土）16:15～18:30
- 場所 県民文化会館・梨花ホール
- 参加対象者
 - ・全国女性集会の参加者
 - ・県内の一般参加者

- 内容
 - シンポジウム（同時通訳あり）
 - コーディネーター
原 由利子さん
（反差別国際運動日本委員会事務局長）
 - パネリスト
竹内 功 鳥取市長



ブルナド・ファティマさん
（インド・反差別国際運動理事）



ニマルカ・フェルナンドさん
（スリランカ・反差別国際運動理事長）

中村陽子さん
（部落解放同盟鳥取県連合会女性部長）

訂正 2004年12月1日号同和問題シリーズ「あなたのまちの人権擁護委員は」の青谷3人、河原3人は、青谷2人、河原2人です。